

登録コード	E2143901	開講年度	2026					
授業科目	地理学野外実習						担当教員	廣内 大助
英文授業名	Excursion in Geography						副担当	内山 琴絵
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	2～4年生
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					地域課題に即した適切な課題設定、授業構築力を養うことができる		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					地域の課題を見出し、総合的学習の企画立案、授業を成立させる力を養う。これを実現する技術を培う		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	地理学に関わる諸現象を実際に野外で観察し、情報収集、分析する能力を育成し、地理学の基礎的な研究方法を習得するための巡検、実地調査を行う。							
(5)授業計画	集中講義として、5泊6日(9/26～10/1を予定)の野外調査実習を行う。本年度は宮崎県(日南市)にて実施する予定。野外では2日巡検を行い地域の地理学的事象の観察を行う。その後4日間自然地理学、人文地理学に関する各自が設定したテーマに基づいた聞き取り調査や、地形観察を実施し、地域調査研究報告としてまとめる。野外実習に先立って事前指導会を3回、実習後には3回の事後報告会を実施する。 第一回事前指導会 テーマの設定と既存研究のレビュー 第二回事前指導会 テーマに基づく既存研究のまとめと研究計画の報告 第三回事前指導会 調査計画と準備状況 1日目：野外巡検(社会科学的事象の観察) 2日目：野外巡検(自然科学的事象の観察) 3日目：各自調査(調査状況の報告) 4日目：各自調査(調査内容の報告) 5日目：各自調査(調査内容の報告、補足点の確認) 5日目：各自調査(調査内容の再確認、不足内容の調査) 第一回事後指導会 調査内容の確認と取得した資料の提示 第二回事後指導会 調査データに基づく考察の提案 第三回事後指導会 調査結果報告(授業アンケート) 調査報告書の提出(報告書は印刷製本する、また信大リポジトリにpdfで公開する)							
(6)成績評価の方法	指導会と野外巡検実習への出席は必須。報告書(100%)で評価。得点率による評価基準は次のとおりとする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	調査内容について述べ、考察できていれば可、問題設定とその学術的意義が適切であれば良、さらに結論に学術的意味があれば優、結論に学術的意味があり、新たな発見やアプローチが認められれば秀							
(8)事前事後学習の内容	適切な調査課題の設定のために、指導会前後のアドバイスや自己学習に沿って関連する書籍や学術雑誌を精読すること。事前指導会 2時間×3回に出席し発表すること。各々の準備は相応の時間を要する。事後指導会2時間×3回に出席し発表すること。こちらでも同程度の事後学習をしておく必要がある。最終報告作成のために、補助データの取得や学術的意味を付加できるだけの研究資料を調べること。							
(9)履修上の注意	交通費、宿泊費、資料代等は実費。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	随時対応(M419・M317研究室)							
【教科書】	特に指定しない							
【参考文献】	必要に応じて都度紹介する							